

## 第9章 要援護者対策

震災後、要援護者の安否確認や介護施設等における被害状況の把握を行うとともに、支援活動を実施した。

### 1 要援護者への安否確認など

在宅の方については、要援護者台帳に基づき、民生委員の協力を得て安否の確認を行うとともに、居宅介護サービス事業所に、サービス利用者の安否の確認をお願いした。また、声の訪問事業や緊急通報システム事業を活用し確認を実施した。

要援護者に対しては、事業者としてのサービス提供の一環として、利用者の心身の状況の把握が求められていることなどから、震災直後には、要介護高齢者、障がい者の安否確認や適切な支援をお願いした。

#### (1) 介護保険事業者による安否確認

##### 支援協力の経過

3月20日

(12時50分) ケアマネジャーおよび訪問介護事業者に一斉 F A X により、安否確認の依頼および生活支援を依頼

※ケアマネジャー350事業所、訪問介護事業282事業所

(14時00分) 避難所開設情報を一斉 F A X により提供

(16時00分) 福岡県の依頼により、「グループホーム」「特定施設入所者生活介護」「通所介護」「通所リハ」の事業所の被災状況および入居者等の被害状況の報告依頼（F A X により）

(18時00分) 福岡県へ第1報として報告

利用者の転倒骨折等の報告多数有り

(内訳) 転倒骨折、やけど、打撲など

事業所建築物の被害 42事業所

(内訳) 壁のひび、エレベーター・ボイラー停止など

入居施設での利用者に被害なし（職員1名がケガ）

3月21日～ 随時支援を行った。

#### (2) 支援費制度居宅支援事業者

##### 支援協力の経過

3月20日 ・デイサービス、ガイドヘルプ事業者へ安否確認依頼。

※介護保険事業者と同一事業者であるホームヘルプ事業者へは高齢者部より依頼

3月21日 ・障がい者1名、市内身体障がい者療護施設へ短期入所制度により入所

3月22日 ・居宅介護事業者へ、地震発生後の利用者への支援に対するお礼と、支援協力の依頼文を発送

3月23日 ・障がい者1名、市内知的障がい者更生施設へ短期入所制度により入所

#### (3) 声の訪問による安否確認状況

(確認日時) 3月22日～23日

(確認人数) 計592人（制度利用者831人－入院・外出等239人＝592人）

(確認者) (声の訪問事業受託者：社会福祉事業団)

老人福祉センター（長生園，若久園，舞鶴園，福寿園）

※各2名の相談員を常時配置（日，祝，年末年始休業）

（確認方法）電話（声の訪問電話相談員による）

#### （4）緊急通報システムによる安否確認

安全センター（緊急通報受託業者）より，緊急通報利用者全員4,980人の安否確認。

（確認日時）3月20日～

（確認人数）計4,980人（対象者全員）

（確認者）安全センター

※看護師，保健師，救急救命士を24時間体制で配置

（確認方法）電話

（確認結果）利用者のうち，計10人を消防に救急出動依頼。

※3月20日当日は，緊急通報利用者からの問い合わせが多く，市内回線では不足したため，東京の回線も利用し対応した。

※地震によりコンセントがはずれたりしたことによる連絡不通もみられた。

#### （5）障がい者団体による安否確認

障がい者団体においても，独自に障がい者の安否確認等の被災状況の把握に努め本市と連携して被災状況の援護を行った。

障がい保健福祉課

（確認日時）3月20日～1週間で，全員確認

福岡市身体障害者福祉協会

・同協会の区支部役員が，被災状況の確認を行った。（3月20日～）

※西浦漁村センターに避難している身体障がい者を第一野の花学園に移送する際，同協会がリフトカーにて，市からの要請により，当該障がい者を搬送した。

・3月23日福岡盲ろう者友の会が市内の登録者の安否確認を行った。

#### （6）高齢者施設

震災後，救助班，高齢者施設課職員到着後すぐに，高齢者福祉施設に対し，施設・設備及び利用者の被災状況を確認するとともに，要援護者の受け入れが可能かどうかを併せて確認を行った。

確認状況（高齢者施設）

（確認日時）3月20日 震災発生直後

（確認施設数）計84施設

（内訳：特別養護老人ホーム 35施設）

軽費老人ホーム（ケアハウス含む） 20施設）

老人保健施設 25施設）

養護老人ホーム 4施設）

（確認者）高齢者施設課職員 4名

（確認方法）電話及びFAX

（確認結果）

・施設の破損状況

3月20日地震直後，エレベーターの停止等が発生したが，当日中復旧平常通りの運営

- ・入所者の被災状況  
 転倒による骨折入院3名，転倒による打撲（軽傷）1名  
 家具転倒による打撲（軽傷）3名
- ・短期入所受け入れ可能施設数及び床数  
 計28施設 計約99床

いずれの施設も電話不通はなく，同日中にすべての施設への確認ができた。

(7) 障がい者施設

震災後，救助班，障がい施設課職員到着後すぐに，障がい児・者福祉施設に対し，施設・設備及び利用者の被災状況を確認するとともに，要援護者の受け入れが可能かどうかを併せて確認を行った。

確認状況（障がい者施設・その他）

（確認日時）3月20日 震災発生直後

（確認施設数）計49施設

（内訳：身体障がい者施設 13（障がい者フレンドホーム7）施設

知的障がい者施設 27施設

障がい児施設 9施設

（確認者）障がい施設課職員 3名

（確認方法）電話及びFAX

（確認結果）

- ・施設の破損状況
- ・身体障がい者入所授産施設「工芸会ワークセンター」  
 スプリンクラー送水管破損
- ・早良障がい者フレンドホーム体育館，天井板の一部脱落
- ・入所者の被災状況  
 身体障がい者施設 3名  
 知的障がい者施設 9名  
 知的障がい児施設 4名
- ・短期入所受け入れ施設数及び床数（実績）  
 計 2施設 計 2床

復旧済

いずれも精神的なもの，身体的ケガは無し

3月20・21日は，休祭日で通所系施設は原則休園。従って，全施設の被災状況が判明したのは3月22日となった。

入所施設，事業団施設は3月20日にすべて確認できた。

## 2 要援護者支援活動

(1) 在宅の方については、民生委員の協力を経て、避難所においては、要援護者の把握に努め、必要に応じ関係施設への連絡や短期入所の手配を行った。

九電記念体育館では、医療班と連携を取りながら、施設入所等の相談や手配を行なった。また、高齢者・障がい者等の相談窓口を健康相談隣に開設した。

4月5日からは、家屋全壊及び玄界島避難者等の一定の要件を満たす避難者に無料の宿泊事業を実施した。(ホテルリフレッシュ事業)

(2) 避難所での要介護者の支援

支援者数 九電記念体育館：26名（新規申請援助12名）

他の避難所 : 12名

※要援護者 : 22名

支援協力 介護保険サービスを希望する者に対して、相談等に応じるとともに、サービス事業者と連携して対応した。

避難所での生活における要介護者の心身の状況を考慮して、デイサービス事業者に協力依頼

(3) 避難所の高齢者のための施策

保健師等による健康相談（心のケアを含む）などのほか、九電記念体育館では医療体制を整え、感染症対策、ストレッチやラジオ体操等の健康づくり体操などを実施した。

(4) 要援護者で、市が特別養護老人ホーム等の施設に短期入所等の手配を行なった人数等

〔市経由で短期入所等を行った要援護者数 計16名〕

○高齢者：計14名

市経由での特別養護老人ホーム短期入所利用者

内訳（住所地）

西区11人（玄界島10人，野方1人），

博多区1人，中央区1人，南区1人

○障がい者：計2名

市経由で障がい者関係施設入所

内訳：身体障がい者療護施設1人，知的障がい更生施設1人

(5) ホテルリフレッシュ事業

今回の地震により、全島避難となった玄界島及び家屋が全壊した人等を対象に高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦などの要援護者とその家族や介護者の人がホテルや旅館で家族だけのひとときを過ごし、疲れを癒していただくため、4月5日から、ホテルリフレッシュ事業として、福岡市ホテル旅館協会の協力を得て、無料の宿泊事業を実施した。

(ホテルリフレッシュ事業を実施することとなった経緯)

厚生労働省社会・援護局及び老健局通知（平成17年3月20日付事務連絡，別紙）により、福岡県西方沖地震により避難生活が必要となった高齢者，障がい者等の要援護者に対する緊急的措置として，旅館，ホテル等を避難所として活用することについて差し支えないとの見解が出された。

これを受けて実施に向けて関係機関（経済振興局観光課，福岡市ホテル旅館協会等）との協議を進め実施要領を策定し，平成17年4月1日，福岡県経由で厚生労働省との協議を行い，平成17年4月5日より事業を開始した。費用負担については，災害救助法第33条及び第44条に基づき，国負担5割，都道府県（福岡県）5割とすることとなったもの。

(ホテルリフレッシュ事業の利用状況)

期間中，利用人数は266人（乳幼児含む），延べ1,186泊分の利用があった。

## 第10章 保健衛生対策

### 第1節 被災者に対する心と身体のケア

#### (1) 巡回・訪問等による健康診断

各区医師，保健師が家庭訪問や避難所の巡回・訪問等により乳幼児から高齢者までを対象に，心とからだの相談等を行った。

【相談件数】 延べ9,624人（平成17年5月31日で終了し，以後一般業務へ移行した。）

#### (2) 心の相談

##### ① 心のケア

##### ア 心のケアホットラインの設置 3/23～5/31

- ・精神保健福祉センターに電話相談窓口を設置

相談件数 565人

主な相談内容 不眠・揺れる感じがする・食欲不振等

##### イ 九電記念体育館での対応

- ・健康相談コーナーの設置 3/21～4/24

保健福祉局等の保健師により健康相談コーナーを設置

相談延べ件数 682人（男324人，女358人）

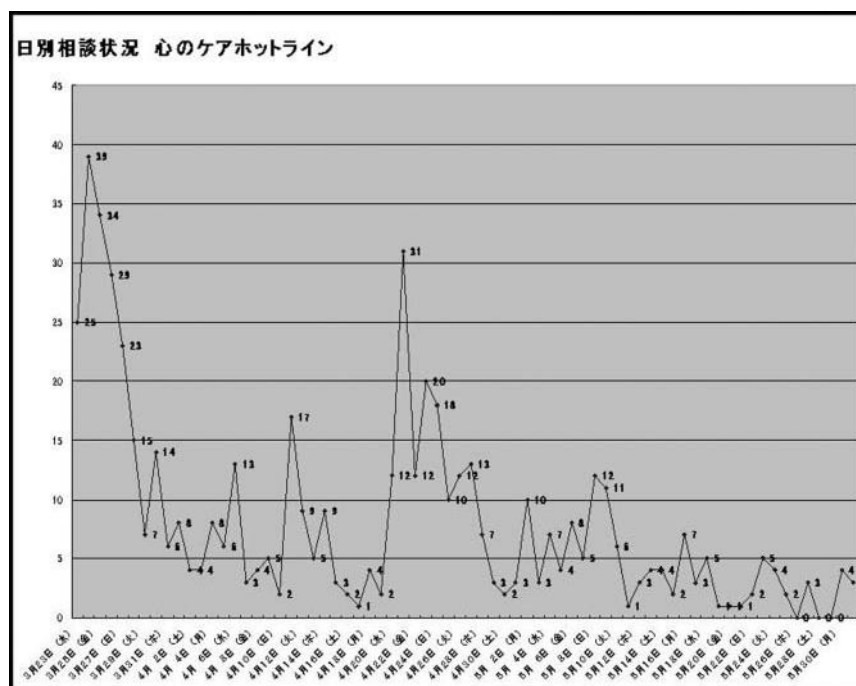
主な相談内容 血圧・不眠・不安等

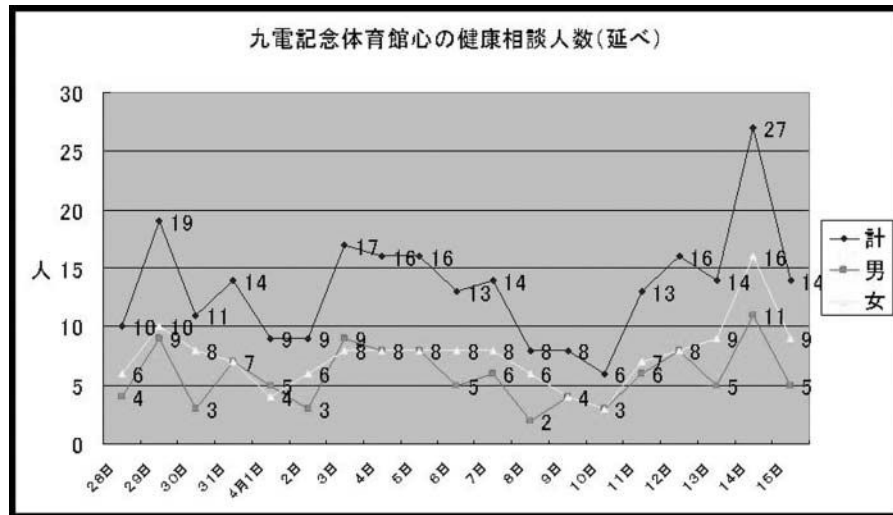
- ・心の相談コーナーの設置 3/21～4/24

福岡県精神保健福祉センターの協力を得て心の相談コーナーを設置

相談延べ件数 254人（男111人，女143人）

主な相談内容 不眠・不安・血圧等





② 子どもの心のケア

ア 対応と相談窓口の周知について

子どものストレス反応とその対応方法、相談窓口について周知し、電話や面接による相談対応を行った。

- ・ 区保健福祉センターの保健師等による相談対応及び相談窓口の周知
- ・ 「子どもの心のケアをするために」と題したプリントの配布

【配布先等】 保育所、幼稚園、小・中学校、避難所等、区保健福祉センターでの乳幼児健診時

- ・ 市政だより、新聞、テレビ等での広報
- ・ 福岡市ホームページへの掲載

イ こども相談総合センターでの受付件数（平成18年12月31日現在）

- ・ 電話相談（24時間対応）

件数	相談対象者の内訳	
338件	0～2歳	39件
	3～6歳	127件
	小学校低学年	95件
	小学校高学年	47件
	中学生	18件
	その他	12件

- ・ 面接相談 23件

ウ 九電記念体育館での対応

子どもの遊び場コーナーの設置及び相談対応（平成17年3月21日～4月25日）

③ 児童生徒たちに対する心のケア

ア 心のケアが必要とされる児童生徒の状況について

心のケアが必要とされる児童生徒は、本震で377名、余震で42名、合計419名であった。そのうち学校や家庭の対応により、不安が解消した児童生徒は165名である。残り254名は、各学校でスクールカウンセラーが対応し、相談活動を行った。

5月末の時点で、本震と余震による相談活動はほぼ終了した。

イ 玄界小・中学校への支援状況について

玄界小・中学校の児童生徒は、まず避難場所の九電記念体育館に、その後、仮設住宅に移動し、簗子小学校、舞鶴中学校内の仮校舎に通学するようになった。しかし、一時的に家族と離ればなれになったりすることで、様々なストレス状況に置かれていたので、教育相談課として定期的な継続支援を行った。

【心のケア実施状況】

(平成17年5月27日現在)

相談を希望した	対 応		備 考
児童生徒の総数 419名	学校や家庭の対応により不安が解消した児童生徒 165名		全員学校に登校し、 通常の学校生活を 送っている。
本震377名 余震42名	スクールカウンセラー 相談	相談終了243名	
		相談継続中6名	
		医療機関5名 (うち実通院は1名)	

ウ 教育相談課による支援

4月には月4回(4/12, 4/15, 4/19, 4/25), 5月には月2回(5/17, 5/24)の支援を行った。仮設住宅の長い滞在生活で生じる二次的なストレスに対応できるように、児童生徒、教師を対象にカウンセリングを継続的に行った。その後、月1回程度、定期的に指導主事が訪問を行い、児童生徒からの相談対応や、教師対象の研修会を行った。



## 第2節 生活衛生対策

地震災害の発生に伴う健康被害の発生、衛生状態の悪化を防止し、被災者の生活衛生の保持を図った。

## 1 環境衛生

## (1) 飲用水（貯水槽・井戸水）の衛生指導

## ア 相談件数

区	東	博多	中央	南	城南	早良	西	計
井戸水	3	67	1	13	4	6	7	101
貯水槽	0	1	20	12	2	1	0	36
計	3	68	21	25	6	7	7	137

## イ 啓発チラシの配付

貯水槽啓発チラシ 1,492件

飲用井戸啓発チラシ 210件

## ウ 井戸水水質検査受付件数

区	東	博多	中央	南	城南	早良	西	計
受付件数	134	55	3	14	17	11	57	291

## (2) 各避難所への衛生指導

## ア 立入調査のべ件数

区	東	博多	中央	南	城南	早良	西	計
立入件数	77	12	28	6	10	8	12	153

## イ 指導内容

- ・ 飲料水の衛生指導（貯水槽・井戸水）
- ・ レジオネラ症防止対策
- ・ トイレの適正管理
- ・ ゴミ等の適正廃棄

## ウ 入浴施設の確保

避難等により家庭風呂を利用できない被災者へ、福岡県公衆浴場生活衛生同業組合福岡市支部の協力を得て、銭湯無料入浴券を配布

九電記念体育館以外の避難所

3月23日～3月25日 1,000枚配布

九電記念体育館避難所

4月14日～4月26日 600枚配布

（4月15日・20日は無料送迎を実施）

## エ 無料出張理容所・美容所（九電記念体育館・西浦漁村センター）の衛生指導

### (3) 玄界島消毒

生ごみが原因と考えられる大量発生したウジ虫及びハエの駆除を目的として消毒を実施（4月15日）

ごみ集積場等30件（延べ6,000㎡相当）

公共用域：ごみ集積場，側溝，通路及び道路

個人住宅：汲み取り便所周辺（地元立会人の指示箇所ではA Bランクに限る）

その他：生ごみ集積に用いたリフトのボックス内外とリフト発着箇所まわり

生ごみ集積に用いた地元トラック荷台

※くらしの環境財団へ業務委託（肩掛け噴霧器4台，動力噴霧散布車2台）

## 2 食品衛生

### (1) 各避難所への衛生指導

#### ア 立入調査の件数

区	東	博多	中央	南	城南	早良	西	計
立入件数	77	12	28	6	10	8	12	153

#### イ 指導内容

- ・食中毒予防の啓発ポスターの貼付
- ・提供弁当等の消費期限及び保存温度遵守の徹底指導
- ・炊き出し等の調理の注意（食材等の適切な温度管理，十分な加熱等）

### (2) 提供弁当製造業者への衛生指導

- ・製造から配達の間短縮
- ・配布時に「早期喫食」の注意喚起の実施
- ・製造時の衛生

### (3) 九電記念体育館におけるボランティア提供食事の指導

- ・生もの不可
- ・バザーに準じて指導

## 3 衛生関係手数料等の減免

福岡県西方沖地震により被災した衛生関係施設の建替え・移転等にもなう営業許可等申請手数料の減免

理容所・美容所 4件（中央区4件）

旅館 1件（東区1件）

食品関係施設 24件（東区5件 中央区15件 城南区1件 早良区1件 西区2件）

※平成18年12月末現在

## 4 動物愛護・衛生

## (1) 動物愛護

被災動物の救出，保護・収容等を実施した。

## ア 玄界島から避難した動物

〈飼い主とともに九電記念体育館に避難した動物〉

犬	7頭
フェレット	2匹
セキセイインコ	1羽
イグアナ	1匹（動物園に一時収容）

〈動物管理センターが玄界島から救出した動物〉

犬	1頭（動物管理センターに一時収容）
九官鳥	1羽（九電記念体育館に避難）
スズメ	1羽（同上）
ウーパールーパー	1匹（同上）
ウサギ	5羽（動物園に収容）
ウコッケイ	3羽（同上）

※学校飼育動物（ウサギ，ウコッケイ）以外は，島民の帰島後，飼い主と生活

## イ 九電記念体育館における避難動物への対応

- ・餌，動物用グッズの提供
- ・フン袋の配布

〔動物愛護団体による対応〕

- ・餌，動物用グッズの提供
- ・シャンプー，トリミングの実施

〔福岡市獣医師会による対応〕

- ・避難動物の定期健康診断の実施

## ウ 玄界島に残された動物への対応

- ・主に飼い猫に対して定期的に給餌を実施
- ・避難していた島民の帰島後に給餌を終了

## エ 九電記念体育館以外の避難所における動物対策

- ・各避難所における被災動物の収容状況の聞き取り調査  
調査施設数 65施設

## オ 動物相談窓口の設置

被災者が飼養している動物について，電話相談窓口の設置

4月5日から10月1日までの間，（社）福岡県動物福祉協会において対応  
相談件数 8件

## (2) 動物衛生

各避難所への立入調査及び衛生指導

- ・動物収容設備の衛生確保
- ・臭気，昆虫の発生防止及び駆除
- ・エサ置き場等の適正管理
- ・汚物の適正処理

## 第11章 清掃対策

災害後の環境衛生を維持するため、災害で発生したごみ、し尿等を応急に処理した。

(1) 工場及び埋立場等の受け入れ時間の変更について

期 日 等	時 間 及 び 内 容 等
3月20日(日) 地震発生の当日	13時～19時まで緊急受け入れ ※東部・西部の両埋立場のみ
3月21日(月)～27日(日)	7時～19時まで受け入れ
3月28日(月)～4月2日(土)	7時～18時まで受け入れ
4月3日(日)～4月9日(土)	7時～17時まで受け入れ
4月10日(日)	日曜日休み
4月11日(月)～16日(土)	8時30分～17時まで受け入れ
4月17日(日)	日曜日休み
4月18日(月) 以降	自己搬入は通常の受け入れ時間 8時30分～16時
4月20日(水) 余震発生	
4月21日(木)～23日(土)	自己搬入は通常どおり8時30分～16時。
4月25日(月)～30日(土)	※委託・許可ごみ夜間早朝搬入のみ、通常午前1時 を午前0時30分へ繰り上げ受け入れ。

※通常時の自己搬入受け入れ時間等：月曜日～土曜日8時30分～16時まで（日曜日は休み）

福岡県西方沖地震による罹災ごみについて

1 収集形態別 (単位：台, t)

項目	委託		直営		計	
	台数	搬入量	台数	搬入量	台数	搬入量
平成17年3月	992	1,616.94	279	526.61	1,271	2,143.55
平成17年4月	955	1,626.45	120	192.55	1,075	1,819.00
平成17年5月	677	1,297.19	22	38.77	699	1,335.96
平成17年6月	319	674.07	24	34.07	343	708.14
平成17年7月	697	1,300.66	4	0.88	701	1,301.54
平成17年8月	387	993.15	2	0.24	389	993.39
平成17年9月	208	370.11	1	0.15	209	370.26
平成17年10月	410	863.46	0	0.00	410	863.46
平成17年11月	182	430.55	2	0.17	184	430.72
平成17年12月	77	108.75	3	0.35	80	109.10
平成18年1月	110	210.15	1	0.06	111	210.21
平成18年2月	85	127.84	0	0.00	85	127.84
平成18年3月	424	673.64	0	0.00	424	673.64
平成18年4月	261	583.58	0	0.00	261	583.58
計	5,784	10,876.54	458	793.85	6,242	11,670.39

2 上記の各区毎収集台数及び収集量 (単位：台, t)

項目	東区		博多区		中央区		南区		城南区	
	台数	搬入量	台数	搬入量	台数	搬入量	台数	搬入量	台数	搬入量
平成17年3月	175	200.44	69	112.40	596	757.65	42	49.05	23	45.40
平成17年4月	486	747.73	47	52.96	246	320.55	18	29.79	5	9.52
平成17年5月	506	922.17	8	8.23	48	59.38	6	8.28	4	10.34
平成17年6月	290	623.15	8	4.61	16	29.67	6	10.16	7	15.20
平成17年7月	674	1,266.06	3	0.81	4	4.84	2	1.76	0	0.00
平成17年8月	378	981.35	2	0.24	2	3.75	0	0.00	2	2.16
平成17年9月	193	358.69	0	0.00	8	5.51	0	0.00	0	0.00
平成17年10月	402	851.51	0	0.00	4	5.84	0	0.00	0	0.00
平成17年11月	176	424.72	2	0.17	1	1.30	0	0.00	0	0.00
平成17年12月	77	108.75	2	0.22	1	0.13	0	0.00	0	0.00
平成18年1月	110	210.15	1	0.06	0	0.00	0	0.00	0	0.00
平成18年2月	85	127.84	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
平成18年3月	315	460.39	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
平成18年4月	261	583.58	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
計	4,128	7,866.53	142	179.70	926	1,188.62	74	99.04	41	82.62

(単位：台, t)

項目	早良区		西区		今宿		玄界島		能古島		計	
	台数	搬入量	台数	搬入量	台数	搬入量	台数	搬入量	台数	搬入量	台数	搬入量
平成17年3月	59	117.96	73	164.65	234	696.00	0	0.00	0	0.00	1,271	2,143.55
平成17年4月	64	130.45	7	16.56	196	491.21	2	7.46	4	12.77	1,075	1,819.00
平成17年5月	34	87.17	2	3.97	66	175.83	10	17.16	15	43.43	699	1,335.96
平成17年6月	4	6.03	0	0.00	0	0.00	12	19.32	0	0.00	343	708.14
平成17年7月	9	15.38	0	0.00	0	0.00	9	12.69	0	0.00	701	1,301.54
平成17年8月	5	5.89	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	389	993.39
平成17年9月	1	0.35	0	0.00	0	0.00	7	5.71	0	0.00	209	370.26
平成17年10月	4	6.11	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	410	863.46
平成17年11月	3	2.45	2	2.08	0	0.00	0	0.00	0	0.00	184	430.72
平成17年12月	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	80	109.10
平成18年1月	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	111	210.21
平成18年2月	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	85	127.84
平成18年3月	109	213.25	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	424	673.64
平成18年4月	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	261	583.58
計	292	585.04	84	187.26	496	1,363.04	40	62.34	19	56.20	6,242	11,670.39



都心部での被災ごみ回収



被災ごみの回収



生ごみの搬出



船による被災ごみの搬出

## (2) 震災ごみの受け入れ方法及び受け入れ施設について

区役所の総務課で罹災証明の交付を受けた被災者（個人及び事業者）には、区役所生活環境課で現場確認の上、罹災カードを交付し、震災ごみは本市中間処理施設（東部・南部・西部・臨海各工場、緑のリサイクルセンター）及び最終処分場（東部・西部各埋立場）で受け入れた。

## (3) ごみ処理手数料について

地震に伴う被災者のごみ処理手数料については（2）の手続きによるものは、平成20年3月31日まで減免を行った。

※ごみ処理手数料140円/10kg

（平成17年6月料金改定，旧ごみ処理手数料110円/10kg）

福岡県西方沖地震に伴う工場及び埋立場の罹災ごみ自己搬入量について（速報値）

単位：台， t

月 別	区分	東部工場	南部工場	西部工場	臨海工場	東部埋立	西部埋立	緑のリサイクル	合 計
17年3月分 (17.3/20~3/31)	台数	31	10	137	0	67	265	0	510
	搬入量	20.87	11.80	103.97	0.00	101.21	454.48	0.00	692.33
17年4月	台数	93	64	355	0	450	1,057	92	2,111
	搬入量	87.39	125.57	330.54	0.00	1,383.14	2,672.06	203.72	4,802.42
17年5月	台数	160	157	577	0	613	1,587	155	3,249
	搬入量	127.56	269.00	656.26	0.00	2,552.32	5,188.99	250.51	9,044.64
17年6月	台数	196	143	429	0	704	1,181	154	2,807
	搬入量	143.43	306.91	384.71	0.00	3,053.07	3,279.51	256.78	7,424.41
17年7月	台数	136	87	465	0	760	929	114	2,491
	搬入量	131.18	177.68	511.07	0.00	4,076.05	3,867.54	204.97	8,968.49
17年8月	台数	119	72	432	0	649	885	83	2,240
	搬入量	114.74	147.26	532.68	0.00	3,432.60	3,410.80	156.83	7,794.91
17年9月	台数	103	59	256	0	656	666	124	1,864
	搬入量	114.43	133.49	320.47	0.00	4,155.70	2,550.48	223.82	7,498.39
17年10月	台数	104	138	231	21	639	628	60	1,821
	搬入量	143.40	236.09	241.61	25.15	4,016.85	2,345.21	136.13	7,144.44
17年11月	台数	107	51	184	18	308	459	55	1,182
	搬入量	116.77	82.81	199.58	13.38	1,263.60	1,627.33	130.59	3,434.06
17年12月	台数	64	56	197	34	523	450	61	1,100
	搬入量	69.39	92.61	259.14	62.78	1,083.96	2,123.76	96.25	3,787.89
18年1月	台数	52	0	127	84	135	217	29	644
	搬入量	55.48	0.00	118.40	173.63	652.30	866.93	81.40	1,948.14
18年2月	台数	91	8	218	130	325	459	20	1,251
	搬入量	121.97	18.87	254.81	226.51	2,216.16	2,036.02	54.40	4,928.74
18年3月	台数	15	61	282	99	523	618	25	1,623
	搬入量	9.71	107.39	343.92	157.20	3,228.77	2,688.02	55.68	6,590.69
18年4月	台数	49	28	289	66	416	578	31	1,457
	搬入量	44.70	44.71	337.30	97.09	1,565.23	2,813.74	76.31	4,979.08
18年5月	台数	25	57	128	33	264	214	24	745
	搬入量	12.10	124.00	143.35	39.73	1,209.48	879.89	55.12	2,463.67
18年6月	台数	38	40	243	8	214	443	26	1,012
	搬入量	29.34	65.77	332.71	3.80	974.78	1,611.06	36.48	3,053.94
18年7月	台数	21	14	159	27	62	321	4	608
	搬入量	9.64	24.74	202.40	37.77	248.78	1,293.67	1.44	1,818.44
18年8月	台数	12	22	98	23	91	157	5	408
	搬入量	9.95	50.50	101.33	50.21	520.39	487.62	16.93	1,236.93
18年9月	台数	68	3	247	29	122	392	5	866
	搬入量	110.27	2.55	314.61	44.24	435.00	1,645.29	8.76	2,560.72
18年10月	台数	14	13	63	50	57	191	14	402
	搬入量	18.31	17.98	36.59	97.56	243.66	696.90	21.98	1,132.98
18年11月	台数	17	6	123	28	49	148	4	375
	搬入量	13.50	8.72	72.40	36.56	172.80	626.30	12.73	943.01
18年12月	台数	17	5	81	36	46	119	12	316
	搬入量	21.20	9.71	75.27	49.68	198.93	457.35	28.37	840.51
19年1月	台数	6	5	134	54	80	196	0	475
	搬入量	3.32	7.85	159.12	56.61	158.66	738.46	0.00	1,124.02
19年2月	台数	5	11	48	7	48	54	4	177
	搬入量	1.89	18.79	50.04	5.72	161.59	155.13	7.41	400.57
19年3月	台数	1	5	90	28	45	147	0	316
	搬入量	0.57	7.07	88.28	35.62	144.40	462.98	0.00	738.92
19年4月	台数	12	12	118	36	64	234	3	479
	搬入量	3.28	17.25	133.90	47.32	208.93	816.47	1.72	1,228.87
19年5月	台数	22	11	30	17	84	47	2	213
	搬入量	13.14	17.44	26.50	28.95	290.28	125.00	2.70	504.01
19年6月	台数	20	7	80	1	111	103	10	332
	搬入量	20.69	13.43	82.50	1.00	535.74	236.33	24.16	913.85
19年7月	台数	2	0	80	13	0	120	0	215
	搬入量	2.49	0.00	104.79	14.44	0.00	435.62	0.00	557.34
19年8月	台数	3	0	64	29	8	62	0	166
	搬入量	1.11	0.00	74.22	24.13	19.41	201.07	0.00	319.94
19年9月	台数	7	0	41	7	38	51	0	144
	搬入量	5.49	0.00	36.46	12.98	97.58	166.53	0.00	319.04
19年10月	台数	24	15	7	26	116	44	10	242
	搬入量	28.76	13.92	5.08	42.59	529.54	111.48	21.39	752.76
19年11月	台数	4	17	32	7	89	37	3	189
	搬入量	1.50	28.13	33.33	9.42	393.65	112.72	9.21	587.96
19年12月	台数	0	0	68	13	33	139	0	253
	搬入量	0.00	0.00	72.73	15.08	125.70	402.59	0.00	616.10
20年1月	台数	0	0	26	0	16	40	0	82
	搬入量	0.00	0.00	13.95	0.00	64.65	71.08	0.00	149.68
20年2月	台数	2	0	53	12	25	57	0	149
	搬入量	0.13	0.00	50.00	16.54	66.22	176.16	0.00	309.05
20年3月	台数	7	12	97	49	49	137	4	355
	搬入量	1.59	15.19	88.46	102.29	156.84	618.63	2.80	985.80
合計	台数	1,647	1,189	6,289	985	8,194	13,432	1,133	32,869
	搬入量	1,609.29	2,197.23	6,892.48	1,527.98	39,737.97	48,453.20	2,178.59	102,596.74